

2018年8月10日
日興アセットマネジメント株式会社



日興グローイング・ベンチャーファンド

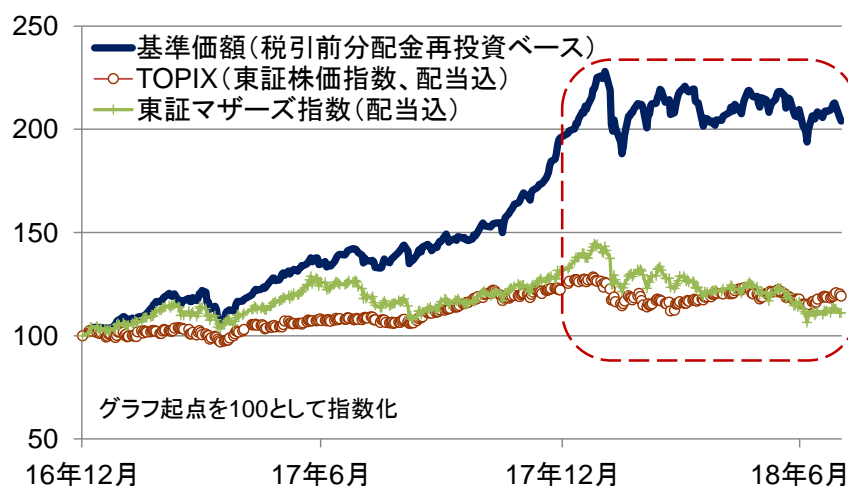
パフォーマンスの振り返り
～逆風下でも徹底した企業調査が効果を発揮～

本レポートでは、当ファンドの運用状況と、当ファンドのマザーファンドの投資顧問会社である、エンジェルジャパン・アセットマネジメントの運用方針などをご紹介します。

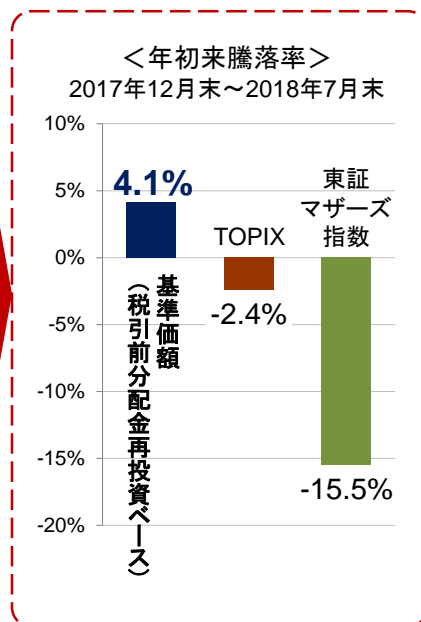
年初以降も市場を上回る推移に

- 2018年も、当ファンドは引き続き市場を上回るパフォーマンスを実現してきました。
- 株式市場は、米金利上昇や米中貿易摩擦の激化などを背景に2月中旬にかけて大きく下落した後も、やや軟調な展開が続きました。しかしながら、当ファンドでは徹底的な調査に基づく銘柄選別などが奏功し、こうした環境下においても、底堅いパフォーマンスを達成しました。

＜当ファンドの基準価額(税引前分配金再投資ベース)および主要指数の推移＞
2016年12月末～2018年7月末



市場下落の影響を受けるも、基準価額は底堅く推移



※基準価額は、信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の値です。
 ※基準価額(税引前分配金再投資ベース)は、税引前分配金を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意ください。
 ※上記指数はいずれも当ファンドのベンチマークではありません。

信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「日興グローイング・ベンチャーファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

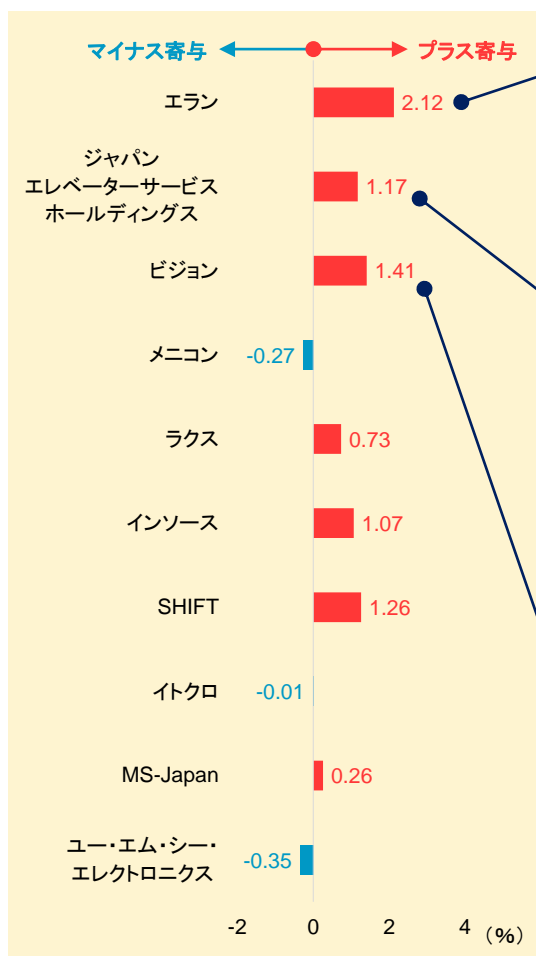
銘柄別寄与度

組入上位銘柄がパフォーマンスをけん引

- 2018年の銘柄別寄与度をみると、**組入上位10銘柄(2018年7月末時点)のうち、7銘柄がプラス寄与**となっていることが確認できます。

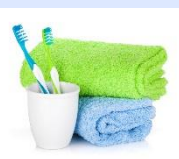
ご参考: マザーファンドにおける組入上位10銘柄*のパフォーマンス寄与度 (2017年12月29日~2018年7月31日)

*2018年7月末時点の組入比率上位



エラン

入院に必要な衣類・日用品セットを提供



- 入院患者や介護施設の入居者などに、衣料・タオル類(洗濯サービス付き)や日用品をまとめてレンタルするサービス「CS(ケア・サポート)セット」を展開。
- 入院手続きの際に病院スタッフからの紹介で契約する仕組みのため、**契約施設の増加とともに利用者数が積み上がるビジネスモデル**を確立。

ジャパンエレベーターサービスホールディングス

高い技術力を持つエレベーター保守会社



- 大手主要機種にはほぼ対応し、**迅速・低価格でサービスを提供**する独立系のエレベーター保守会社。リニューアル需要の取り込みにも注力。
- さらに、**特許取得済の遠隔監視・診断サービス**を活用して故障の予兆をいち早く察知し、障害が発生する前段階での対応を可能としている。

ビジョン

海外旅行向けインターネットサービスを提供



- WiFi(ワイファイ)ルーターを海外旅行者向けに**1日単位の定額料金でレンタルするサービス「グローバルWiFi」**が成長をけん引。
- 国内の**大手携帯会社の海外定額通信サービスより通信料金が著しく安い**。また、**現地通信会社の通信網**を利用し、高い安定性やセキュリティを実現。

※写真はイメージです。

※パフォーマンス寄与度は、上記期間中の基準価額の変動において、各銘柄の変動がどれだけ影響しているかを示したものです。
 ※各銘柄の日次の保有比率および株価を基に計算した概算値であり、実際の取引価格やファンドが負担するコスト(売買手数料や信託報酬など)などは考慮されていません。また、外貨建ての銘柄については、円換算済みの概算値となっています。そのため、実際の基準価額の騰落に対する寄与度を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。
 ※なお、当ファンドにおける各銘柄の保有期間は異なります。

上記は、情報提供を目的として、2018年7月末時点の日興グローイング・ベンチャーファンドのマザーファンドの組入上位銘柄について、エンジェルジャパン・アセットマネジメントからのコメントをもとに、日興アセットマネジメントが作成したものです。上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当社ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆するものでもありません。

※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「日興グローイング・ベンチャーファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

運用者の視点

米中貿易摩擦の影響が懸念されるなかでも、
地道な調査活動により銘柄を厳選

～エンジェルジャパン・アセットマネジメントからのコメント～

米中貿易摩擦による当ファンドへの影響は限定的

- 当ファンドの2018年7月末時点の組入銘柄について、米中貿易摩擦の激化に伴う直接的な影響を受ける銘柄はないと考えています。また、当ファンドが投資対象とする**新興企業は、内需に依存する事業割合が高い傾向にあるため、米中貿易摩擦の影響は限定的**と考えています。
- ただし、状況の推移をこまめにチェックしながら、間接的な影響を受ける可能性が出てきた場合には、想定される影響も考慮しながら、ポートフォリオ構築への助言に努めていく所存です。

“革新的”な高成長企業を厳選し、中長期的に良好なリターンをめざす

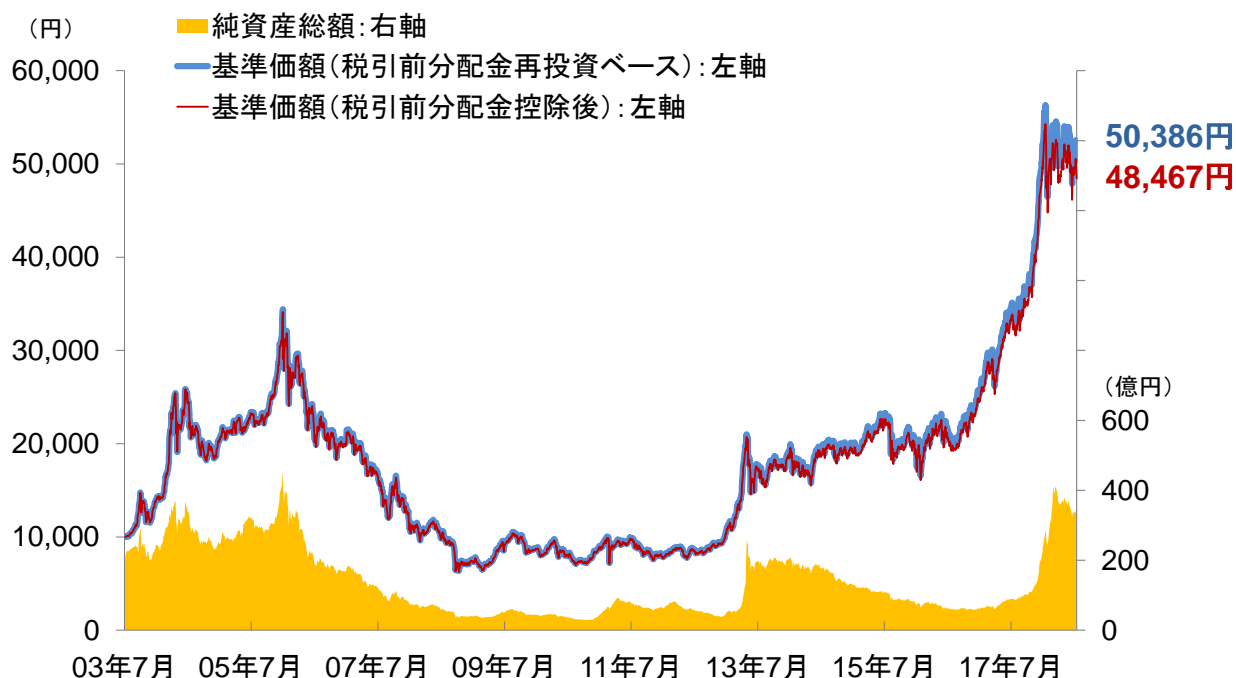
- 当ファンドでは、IPO(株式の新規公開)を機に成長の加速が期待される革新的な高成長企業を厳選しております。
- 革新的というのは抽象的な表現ですが、この意味するところは、「**この企業が大きく成長を遂げると世の中に活気を与える**」という点にあります。また、こうした革新的な企業は情報通信やサービス業だけでなく、小売・卸売、建設、製造業など実に幅広い業種で確認できています。
- 一方で、株式市況の先行きを予測することは極めて困難です。したがって、一つ一つの企業の事業の革新性、成長性を見極めながら、短期的な市況の波を乗り越えつつ、組入企業の**成長力に見合ったリターンを中長期的にはお届けできるはずであるという信念のもと、調査助言活動に邁進してまいります。**

※上記は、「日興グローイング・ベンチャーファンド」のマザーファンドの投資顧問会社であるエンジェルジャパン・アセットマネジメントからのコメントをもとに、日興アセットマネジメントが作成しています。

運用実績とポートフォリオの内容

＜設定来の基準価額と純資産総額の推移＞

2003年7月18日（設定日）～2018年7月31日



※基準価額は、信託報酬控除後の1万口当たりの値です。信託報酬の詳細につきましては、後述の「手数料等の概要」をご覧ください。
 ※基準価額（税引前分配金再投資ベース）は、税引前分配金を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意ください。

＜株式組入上位10銘柄＞

2018年7月末現在

（銘柄数：54銘柄）

	銘柄名	業種	比率
1	エラン	サービス業	3.91%
2	ジャパンエレベーターサービスホールディングス	サービス業	3.87%
3	ビジョン	情報・通信業	3.79%
4	メニコン	精密機器	3.58%
5	ラクス	情報・通信業	3.57%
6	インソース	サービス業	3.57%
7	SHIFT	情報・通信業	3.55%
8	イトクロ	サービス業	3.41%
9	MS-Japan	サービス業	3.38%
10	ユー・エム・シー・エレクトロニクス	電気機器	3.19%

※「株式組入上位10銘柄」はマザーファンドの状況であり、比率は対純資産総額です。
 ※個別の銘柄の取引を推奨するものではありません。
 ※上記銘柄については将来の組入れを保証するものではありません。

※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「日興グローイング・ベンチャーファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

ファンドの特色

1 高成長新興企業の株式に投資を行ない、信託財産の成長をめざします。

○主として、公開後5年以内のわが国の金融商品取引所上場株式の中から、革新的な高成長新興企業(=グローイング・ベンチャー)に投資を行ないます。

2 エンジェルジャパン・アセットマネジメントによる徹底したボトムアップ・リサーチにより有望企業を厳選します。

3 エンジェルジャパン・アセットマネジメントから投資助言を受けます。

お申込みに際しての留意事項

■ リスク情報

投資者の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【未上場株式などの組入リスク】

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

■ その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様へ「日興グローイング・ベンチャーファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

■当資料は、投資者の皆様へ「日興グローイング・ベンチャーファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

お 申 込 め も

商品分類	追加型投信／国内／株式
ご購入単位	購入単位につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。
ご購入価額	購入申込受付日の基準価額
信託期間	2023年7月18日まで(2003年7月18日設定)
決算日	毎年7月17日(休業日の場合は翌営業日)
ご換金代金のお支払い	原則として、換金請求受付日から起算して5営業日目からお支払いします。

手 数 料 等 の 概 要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

<お申込時、ご換金時にご負担いただく費用>

購入時手数料	購入時手数料率は、 <u>3.24%(税抜3%)</u> を上限として販売会社が定める率とします。 ※分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	換金時の基準価額に <u>0.5%</u> の率を乗じて得た額

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

信託報酬	純資産総額に対して年率 <u>2.052%(税抜1.9%)</u> を乗じて得た額
その他費用	組入有価証券の売買委託手数料、監査費用、借入金の利息、立替金の利息 など ※その他費用については、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

※ 当ファンドの手数料などの合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

委託会社、その他関係法人

委託会社	日興アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号 加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、 日本証券業協会
投資顧問会社	エンジェルジャパン・アセットマネジメント株式会社
受託会社	野村信託銀行株式会社
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 日興アセットマネジメント株式会社 [ホームページ]http://www.nikkoam.com/ [コールセンター]0120-25-1404(午前9時~午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
エース証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第6号	○		
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○
岡三オンライン証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第52号	○	○	○
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第20号	○		
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第140号	○		○
内藤証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第24号	○		○
日産証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第131号	○		○
碧海信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第66号	○		
水戸証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第181号	○	○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○

(50音順、当資料作成日現在)